

下大和田谷津田だより

2003年11月号

第29回谷津田プレート・プロジェクト(YPP) 今年の実りに感謝！収穫祭

10月11日 晴れ

冷夏の影響で多少収穫は落ちたものの、今年もお米の収穫ができたことを祝い、田んぼのめぐみに感謝して収穫祭が行われました。例年のように出店方式で、工作コーナーでは竹で自分で使う箸や器を作ったり、テレホンカードを使った笛作りや本格的な縦笛吹きに挑戦したりと、小さな子どもから大人まで思い思いに楽しみました。常連参加の小学2年生が折り紙の折り方を説明したパネルを用意してきて折り紙コーナーを作ってくれたのはうれしい企画です。食べる方では取れたての新米に舌鼓を打ち、BBQにたき火で焼き芋と盛りだくさん。また、斜面林に繰り出してアケビ採りをするグループも。千歯こきを使った脱穀体験で出たわらを使って、むしろを編んだり、縄ないをしたり、さらにはその大縄で縄跳び大会も始まりました。恒例の谷津田ウルトラクイズでは賞品のコシヒカリをめぐってたいそうな盛り上がり。わらべうたの会では谷津田に子どもたちの楽しい声が響き渡りました。

例年以上の盛りだくさんなイベントで深まり行く秋の一日を堪能しました。

(参加者：大人40人・小学生13人・乳幼児8人、報告：高山邦明)

第45回「下大和田谷津田の 観察会とゴミ拾い」報告

10月5日 晴れ

栗ひろいに興じたり、アケビの見事な色づきに感嘆したり、コブナグサの紅葉した穂やオギの穂が風にそよぐさまに心打たれたり、少人数でしたが秋の谷津を堪能しました。ただ、ノシメトンボ以外のアカトンボがほとんど見られなかったのが気がかりでした。

開花植物：アカネ、アカバナ、アキノタムラソウ、アキノノゲシ、アシ（ヨシ）、アメリカセンダングサ、イヌタデ、イネガラシ、イボクサ、ウシハコベ、オオジシバリ、オギ、オモダカ、カタバミ、カナムグラ、カントウヨメナ、キクモ、キツネノマゴ、キバナアキギリ、ゲンノショウコ、コシロノセンダングサ、コナギ、サラシナショウマ、ジュズダマ、ショロヨメナ（ヤマシロギク）、シラヤマギク、シロツメクサ、セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポ、セリ、タイアザミ（トネアザミ）、タウコギ、タカサブロウ、タネツケバナ、ダンドボロギク、ツユクサ、ノゲシ、ノコンギク、ノダケ、ノミノフスマ、ハキダメギク、ハルジオン、ヒメジソ、ヒメジョオン、ミゾカクシ（アゼムシロ）、ミゾソバ、メナモミ、ヤブマメ、ヤマハッカ、ヨウシュヤマゴボウ

野鳥：モズ、ハシブトガラス、モズ；昆虫・クモ：キタテハ、ハネカクシ、コカマキリ、コバネイナゴ、セスジツユムシ、アジアイトトンボ、オオアイトトンボ、オニヤンマ、シオカラトンボ、ノシメトンボ、ジョロウグモ、ナガコガネグモ；魚・カエル・貝：メダカ、オオタニシ、カワニナ、ヒダリマキマイマイ、マルタニシ、アメリカザリガニ、ニホンカナヘビ、ヤマカガシ、ニホンアカガエル

(参加者：大人3人 報告：網代春男)

下大和田季節のたより

10月11日 冬鳥ジョウビトの「ヒッ、ヒッ、ヒッ」声を聞く。田んぼの周りには一面、赤まんま（仅好）の濃いピンクとミザキの白～薄ピンク。

10月18日 林縁の日陰にたくさんのオオイトトンボの姿。カガクモの姿が減り、ジョウビトとヨウバグモが中心。ジョウバグモの卵塊をあちこちで見かける。

10月25日 休耕田にまるまる太ったアマガエルが元気よくはね回る。

11月1日 阿原のあちこちから冬鳥アマガエルの「チッ、チッ、チッ」の音が聞こえてくる。

(報告：高山邦明)

稲刈りが終わった田んぼでは案山子たちがちょっと淋しげです。でも渡来をはじめた冬鳥たちで谷津田もこれからにぎやかになります。小春日和にぜひ、谷津田散策を楽しんでみて下さい。

高山邦明